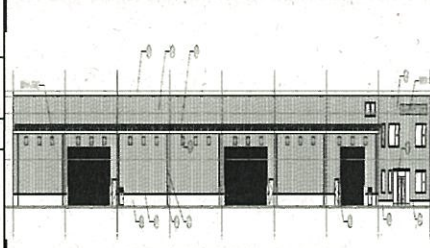


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	真栄運輸株式会社本庄児玉倉庫新	階数	地上2F
建設地	埼玉県本庄市児玉町下浅見148-4	構造	S造
用途地域	区域区分非設定都市計画区域、指定	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2021年1月18日
敷地面積	9,199 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	4,415 m ²	確認日	2021年1月18日
延床面積	4,618 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし。	特になし。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし。	躯体と仕上が容易に分別可能となっている。	広告物照明は行っていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
真栄運輸株式会社本庄児玉倉庫新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.6	
Q1 室内環境									
1 音環境		-	-	-	-	-			
1.1 室内騒音レベル		-	-	3.0	-	-			
1.2 遮音		-	-	-	-	-			
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-	-			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	-			
1.3 吸音		-	-	3.0	-	-			
2 温熱環境		-	-	-	-	-			
2.1 室温制御		-	-	-	-	-			
1 室温		-	-	3.0	-	-			
2 外皮性能		-	-	3.0	-	-			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-	-			
2.3 空調方式		-	-	3.0	-	-			
3 光・視環境		-	-	-	-	-			
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-			
1 昼光率		-	-	3.0	-	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-	-			
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-			
1 昼光制御		-	-	3.0	-	-			
3.3 照度		-	-	3.0	-	-			
3.4 照明制御		-	-	3.0	-	-			
4 空気質環境		-	-	-	-	-			
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-			
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-	-			
4.2 換気		-	-	-	-	-			
1 換気量		-	-	3.0	-	-			
2 自然換気性能		-	-	3.0	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.43	-	-	3.1			
1 機能性		-	-	-	-	-			
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-	-			
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-			
3 内装計画		-	-	-	-	-			
1.3 維持管理		-	-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50	-	-	2.9			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-			
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-			

3 対応性・更新性			3.2	0.50	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			3.8	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率0.1以下	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	1.00	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			-	-	-	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用している。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮			2.9	0.50	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.50	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		照明目的に合った照度を設定し、広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	真栄運輸株式会社本庄児玉倉庫	BEE	0.7	BEEランク	★★
------	----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
0.0	+	2.3	=	2.3 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	0.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	0.0
ライフサイクルCO2排出率82%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
可能な限り緑地を配し、景観に配慮した。			

 : 入力欄